
Windows Server IoT 2019
搭載機種の
Windows 自動アップデートの設定について

第 1.2 版
2021/02/09



変更履歴

版数	日付	内容
1.0	2020/06/08	初版作成
1.1	2020/08/25	Ness4000 を追加
1.2	2021/02/09	対象 OS 説明の追加

はじめに

本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品の適合性、暗黙の保証、運用における損害、及び、本書の使用に関連した損害について責任を負いかねます。また、本製品は、日本国外、軍事目的、原子力設備で使用されないことを前提としております。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品へ記録されたデータについて、その消失・誤記録における責任を負いかねます。

(データのバックアップは、システム管理者の責任において実施が必要です。)

本書は、著作権によって保護された情報を含んでおり、本書のいかなる部分も、株式会社ニューテックの書面による許可の無いまま、コピー、再版、他言語への翻訳を行ってははいけません。

株式会社ニューテック

<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2021, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.

本書利用者の前提条件

本書は、コンピュータ装置の運用管理技術を有し、本書に記載された製品を利用するための、コンピュータ OS(基本ソフト)のインストール及びシステム変更の知識、及び、安全な運用や発生する問題を解決できる人を前提としています。

目次

はじめに.....	I
本書利用者の前提条件.....	I
目次.....	II
1. WINDOWS 自動アップデート設定について	3
2. 手動アップデート	4
2-1. スタンド・アロン・インストーラーで手動アップデート	4
2-2. オンラインで手動アップデート	5
3. WINDOWS 自動アップデート設定変更	7
3-1. 自動アップデート有効に変更	7
3-2. 自動アップデート無効に戻す	7

1. Windows 自動アップデート設定について

CloudyⅢ, CloudyⅢ-LC2, SmartNAS2 1U, Ness4000, Ness1000, Ness1100 の各機種で以下の対象 OS (以下 Windows Server IoT 2019 と呼び) を搭載モデルにつきまして、当社出荷製品では自動 Update を行わない設定となっております。

「対象 OS」

Windows Server IoT 2019 Standard/ Windows Server IoT 2019 for Storage Standard/
Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup

サーバー用途 Windows 搭載機において、アップデートの自動適用に伴う予定外の再起動、アップデート適用により偶発的に発生し得る予期せぬ障害を回避するために、サーバー運用方法としてよくみられる手法として、「Microsoft がアップデート配布後、一定期間適用を保留し、障害発生情報有無を判断した上で再起動可能なスケジュールで運用管理者がアップデートを行う」ものがあります。当社製品はこの形に添い、工場出荷状態では自動アップデートを行わない設定となります。

注意

工場出荷設定で自動アップデートを行わない状態にしておりますが、アップデートを行わなくてもセキュリティ上、動作上の問題が発生しないことを保障するものではありません。適宜公表される Windows のアップデート情報に対し、お客様にて適用の要あり・なしをご判断いただき、必要なものについては実施いただく事をお勧めいたします。

2. 手動アップデート

手動アップデート方法としては、Microsoft が配布するアップデートのスタンド・アロン・インストーラーを入手し、インストールする方法と、Windows の設定パネルからアップデートを実行させる方法があります。

2-1. スタンド・アロン・インストーラーで手動アップデート

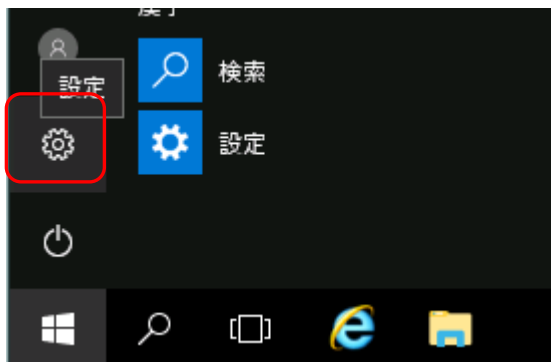
自動アップデートを行わない設定のまま、スタンド・アロン・インストーラーによるオフラインアップデートを行う場合、あらかじめインストーラーを入手する必要があります。

インストーラーの入手方法につきましては、マイクロソフト社サイト <http://www.catalog.update.microsoft.com/home.aspx> にて KB 番号を入力し、表示されるダウンロードリンクからダウンロードをお願いいたします。

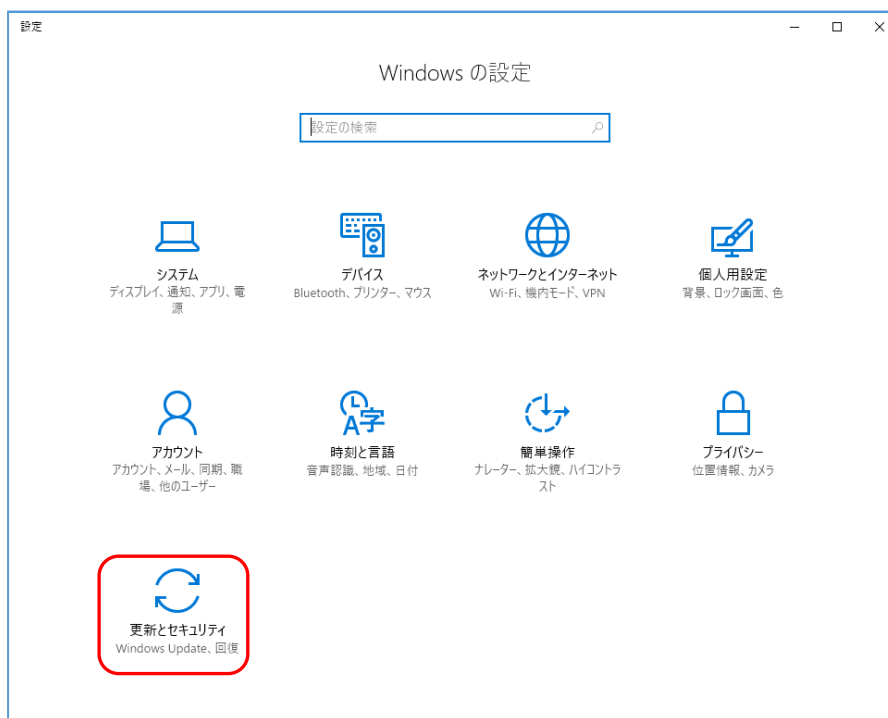


2-2. オンラインで手動アップデート

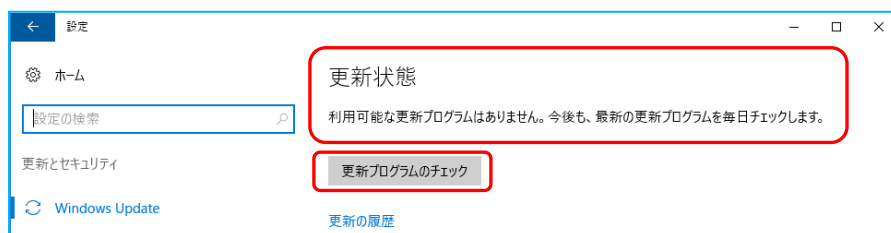
当社工場出荷状態のまま(自動アップデートを行わない設定)オンラインで手動アップデートを行う場合、以下の手順で実行します。



スタートメニューを開き、「設定」を選択します。



「更新とセキュリティ」をクリックします。



更新状態レポートとして、「利用可能な更新プログラムはありません。今後も、最新の更新プログラムを毎日チェックします。」との表示がなされます。

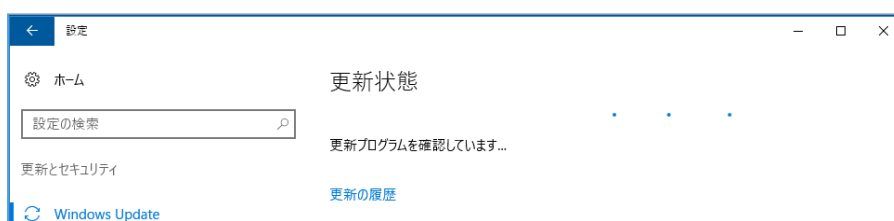
⚠️ 注意

工場出荷設定で自動アップデートを行わない状態にしているため、インターネットに接続できる環境下にあっても、更新プログラムの有無を常時確認していません。

そのため、この表示は、機材状況が最新にあることを意味するものではありません。

[更新プログラムのチェック] ボタンを押し、更新プログラムの確認を行わせてみます。

この際、有効なインターネット接続環境が必要となります。



アップデートが見つかるとダウンロードとインストールを行います。



アップデート後に再起動が必要な場合、その旨の表示がされます。

上記の手動アップデートを行わせた後も、自動アップデートは有効になりません。

都度、同じ要領で手動アップデートを行ってください。

3. Windows 自動アップデート設定変更

当社は Windows 自動アップデートを有効/無効に設定するツールを用意しております、必要な場合、自動アップデートを有効/無効に設定できます。

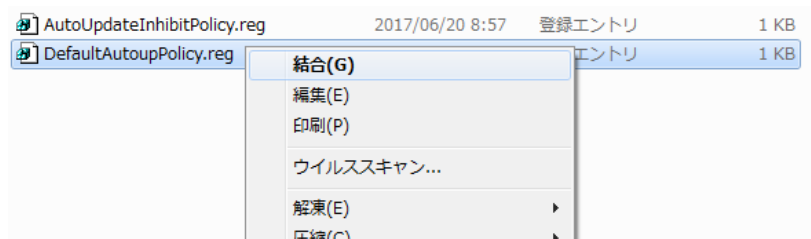
3-1. 自動アップデート有効に変更

当社の Windows Server IoT 2019 搭載機種は、C:\%NTC にデバイスドライバー類を持っています。C:\%NTC か C:\%NTC\Win_auto_update_config にある 2 つのレジストリ情報を使うことで、自動アップデートの無効化(工場出荷時設定)、有効化が行えます。

AutoUpdateInhibitPolicy.reg : Newtech デフォルトの自動アップデート無効設定

DefaultAutoupPolicy.reg : Microsoft デフォルトの自動アップデート有効設定

自動アップデートを有効化する場合、DefaultAutoupPolicy.reg を使用します。

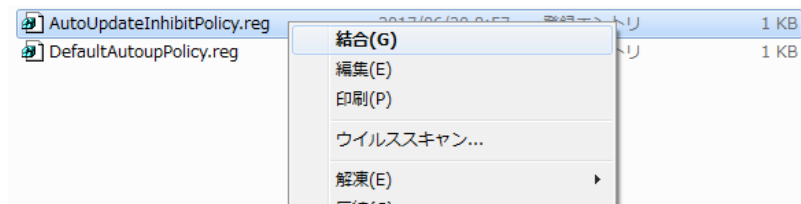


レジストリ情報ファイルを選択し、右クリックでメニューを表示させ、「結合」を選択してください。

ここで状態設定を変更した場合、Windows の再起動が必要です。

3-2. 自動アップデート無効に戻す

上記手順で自動アップデートを有効にした後、再度これを無効にしたい場合、AutoUpdateInhibitPolicy.reg を結合し、Windows の再起動を行ってください。



ここで状態設定を変更した場合、Windows の再起動も必要です。

株式会社ニューテック
<http://www.newtech.co.jp>
Copyright© 2021, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.
